

ては評議員の皆さんにはお諮りしてきたところですが、ホストである私たちにとって有益で、楽しめる会議にすることを基本方針とし、また研究会としても、日本の根の研究成果を世界に発信する絶好の機会と捉えたいと思います。

そこで、会員の皆さんの組織委員会への参加を呼びかけます。なるべく多くの会員の皆さんに、各自の条件に応じた形で組織委員会に参加していただき、研究会全体としてこの企画に取り組みたいと存じます。詳細につきましては54ページをご覧ください。

## 5. 根の事典

森田さん、阿部さんが中心となって進めてこられました「根の事典」は現在著者校正の作業に入っております。順調に進めば年内に出版される予定です。

## 6. 「農業および園芸」連載記事のとりまとめ

「植物の根に関する諸問題」と称する連載記事が「農業および園芸（養賢堂発行）」掲載されていることは皆さんご存じのことと思います。1993年に始まったこの連載は、多くの会員の方々にご執筆いただき今月の時点（第73巻第6号）で、第59回目となります。これは研究会としてもたいへん大きな財産ですので、60回分を一区切りにしてとりまとめ出版する企画が、森田さんを中心に進んでいます。詳細につきましては次号にてお知らせいたします。

1998年6月 会長 山内 章

## 1998年度根研究会賞推薦のお願い

以下の規定に基づき、1998年度根研究会賞の推薦をお願い致します。自薦・他薦を問いませんし、推薦者は会員でなくても結構です。ご推薦に当たっては、A4版の紙に候補者氏名、業績タイトル、業績の概要や意義などを記載し、業績一覧表および論文などのコピーを添付して下さい。

送り先は事務局で、締め切りは7月31日到着分までとします。

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学農学部作物科学講座内 根研究会事務局

## 根研究会学術賞規定

1. 本会は、会則第3条に基づき、本規定を定める。
2. 本会は、植物の根（その他の地下器官を含む、以下同様）およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与したものに対して根研究会賞を贈り、これを表彰する。
3. 根研究会賞としては、根研究会学術功労賞、根研究会学術奨励賞、根研究会学術論文賞、および根研究会学術特別賞をおく。根研究会学術功労賞および根研究会学術奨励賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した根研究会会員の研究を対象とする（すでに原著論文として発表されたもので、少なくともその一部が、根研究会の研究集会・シンポジウムなどの会合、あるいは会誌などで会員に紹介されていること）。根研究会学術論文賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術に寄与した根研究会会員の論文を対象とする。発表媒体や発表形態（例えば、原著論文であるか総説であるか）を問わない。根研究会学術特別賞は、植物の根およびこれを取り巻く環境に関する学術の発展に寄与した業績を対象とする。会員であるかどうか、また業績の形態（例えば、出版物かどうか）を問わない。
4. 根研究会賞はいずれも、会員もしくは関連分野の研究者などから推薦のあった対象について、評議員が審議し、その結果を踏まえて、会長および副会長が協議して決定を行なう。ただし、会長および副会長は任期中および任期満了後2年間は推薦すること、あるいは推薦されることができない。